

みかん幼木の移植に関する試験（第1報）

水流 洋・岸野 功

(長崎県総合農林センター果樹部)

Tsuru, H. and Kishino, I.

Studies on the Re-plant of Citrus Tree (I)

みかん集団地の育成にともなつて、最近共同育苗が各地で行われている。この共同育苗から本如へみかんの幼木を移植する場合の剪定、その他の基礎的な移植を確立し、あわせて移植を省力化するため、二、三の実験を行ったので、その結果をここに報告する。

(a) 移植樹の剪定時期が新梢の生育におよぼす影響

〔試験方法〕：普通温州4年生樹供試 1962年4月上旬移植

〔処理区〕：I 移植1カ月前剪定。II 移植時剪定。1区2本。2区2連

〔調査項目〕：発芽本数、新梢伸長量、1963年1月調査。

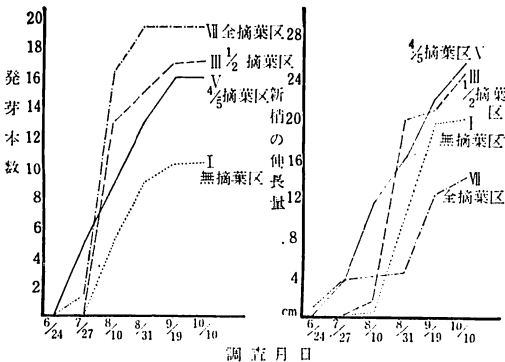
〔調査結果〕：新梢の発芽数、および伸長量については、第1表のように処理区間で大差がなく、剪定時期の早晚が移植後の生育におよぼす影響は認められなかつた。

第1表 移植前の剪定時期と発芽本数及伸長量

	枝梢発芽数			1本当平均伸長量				総伸長量
	春枝	夏枝	秋枝	cm	cm	cm	cm	
I 1ヶ月前	13.8	44.3	5.1	8.7	12.1	13.3	34.0	788.0
II 移植時	14.7	48.6	5.1	8.6	10.7	10.0	29.3	749.1

調査月日 1963年1月

第1図 移植時の摘葉程度と枝梢の發育



(b) 移植時の摘葉程度が活着ならびに樹の生育におよぼす影響

〔試験方法〕：普通温州5年生樹供試、1961年6月移植

〔処理区〕：I 無摘葉区、III ½摘葉区、V ¼摘葉区、VII 全摘葉区、1区2本4連

〔調査項目〕：新梢発芽数、伸長量、1961年6月24日～10月22日まで

地上部、地下部重：1962年2月1区のみ掘上げ解体調査

新梢生育：1963年1月

〔試験結果〕移植後の新梢の生育については、第1図のように、(I)は発芽は早かつたが、伸長は悪く、(VII)は8月中旬以降急激に伸長したが、発芽始めが遅れたために、(III)、(V)に比較して、新梢の伸長は悪かつた。

掘上げ調査(1962年2月)の結果は、第2表のように、摘葉の軽いもの程、地上部、地下部重とも大きく、とくに(I)は細根の割合が多かつた。

第2表 移植時の摘葉程度と樹の發育(移植7ヶ月後)

処理区	総重量	地上部の重量	地下部の重量	細根の割合
I 無摘葉区	8,700 g	5,150 g	3,550 g	25.2%
III 1/2 "	6,950	3,850	3,100	17.6
V 4/5 "	5,035	2,850	2,185	16.1
VII 全 "	3,525	2,000	1,525	9.7

移植1年後の新梢の生育については、第3表のように、発芽本数は(VII)が最も多く、ついで(V)であつた。新梢1本当りの伸長量も(V)がやや良かったため、総伸長量は(V)が最も良く、ついで(III)であつた。

第3表 移植時の摘葉程度と樹の發育(移植1年目)

処理区	発芽本数	総伸長量	1本当平均伸長量
I 無摘葉区	本	cm	cm
III 1/2 "	316	3,645.9	11.4
V 4/5 "	308	4,205.1	12.8
VII 全 "	340	5,502.7	14.6
	379	3,100.4	8.1

以上の結果を総合すると、摘葉の程度が強すぎても樹の生育は悪くなるが、反面弱すぎると地上部、地下

部の釣合がとれず、樹の生育が悪くなる。

(c) 蒸散抑制剤散布と新梢の生育

〔試験方法〕：普通温州5年生樹供試1962年8月移植，灌水量1樹当り30l

〔処理区〕：I OED 30倍，II プリンテックス 250倍，III 無散布 1区2本，3連

〔調査項目〕：発芽本数，伸長量，1963年1月，1963年10月に調査

〔試験結果〕：落葉率については，第4表のように（I）は落葉が少なかつたが，（II），（III）はほとんどかわらなかつた。

秋枝の発芽数は，第5表のように，（I）が（II），

第4表 蒸散抑制剤の効果
1962年8月 1962年9月調査

処理区	調査月日	1962年8月					1962年9月
		8月4日	8月7日	8月11日	8月15日	8月15日	9月1日
I OED30倍	着葉数	1,154枚	1,122	988	964	959	
	落葉率	0.0%	2.8	14.4	16.5	16.9	
II プリンテックス 250倍	着葉数	1,293枚	1,148	1,043	1,025	1,023	
	落葉率	0.0%	11.5	29.3	20.7	20.9	
III 無散布	着葉数	1,040枚	940	823	813	802	
	落葉率	0.0%	9.6	20.9	21.8	21.9	

8月4日移植

（III）よりやや良かつた。移植1年後の生育でも，第6表のように，（I）が良く，次いで（II），（III）であつた。

第5表 移植時の蒸散抑制剤の散布と樹の発育（その1）

処理区	発芽本数	1本当り伸長量	総伸長量
I OED 30倍	39.3	6.8	286.3
II プリンテックス250倍	18.2	6.5	117.6
III 無散布	19.7	5.1	100.0

1963年1月調査

(d) 灌水量，およびマルチの方法と枝梢の生育

〔試験方法〕：普通温州4年生樹供試，1962年8月移植

第7表 移植時の灌水量とマルチの方法と樹の発育（移植1年後）

	発 育 本 数			1 本 当 り 伸 長 量				総伸長量
	春 枝	夏 枝	秋 枝	春 枝	夏 枝	秋 枝	計	
I 50 l. 敷草	252	30	25	cm 4.5	cm 19.6	cm 14.9	cm 39.0	2,580.3
II 25 l. 敷草	163	31	15	4.3	24.9	11.8	41.0	1,642.5
III 25 l. ビニールマルチ	287	50	11	4.8	23.7	15.9	44.4	2,561.3
VI 10 l. 敷わら	102	4	9	3.5	5.5	3.0	12.0	409.1
V 10 l. ビニールマルチ	101	11	15	3.8	5.4	8.0	17.2	561.6
IV 10 l. ビニール+敷わら	266	37	30	5.0	24.9	11.4	41.3	2,585.6
VII 無灌水+ビニール+敷わら	1	0	0	0.2	0	0	0.2	0

第6表 移植時の蒸散抑制剤の散布と樹の発育（その2）

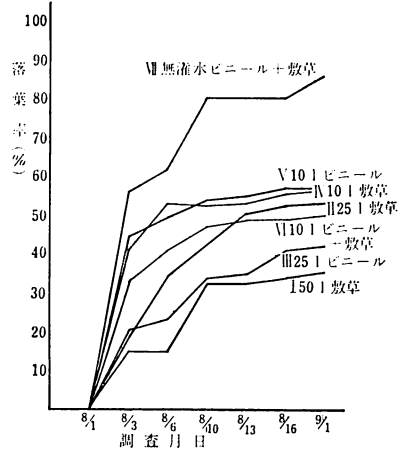
	発芽本数			1本当り伸長量				総伸長量
	春枝	夏枝	秋枝	春枝	夏枝	秋枝	計	
I OED30	385	79	44	cm 5.8	cm 14.3	cm 11.0	cm 31.1	3,862
II プリンテックス 250	359	62	85	5.6	10.8	12.0	28.4	3,688
III 無散布	313	69	31	4.4	18.0	15.8	38.2	3,102

1963年10月調査

〔処理区〕：I 50l灌水，敷わら II 25l灌水，敷わら III 25l灌水，ビニール，マルチ，IV 10l灌水，敷わら V 10l灌水，ビニール，マルチ VI 10l灌水，ビニール，マルチ，敷わら，VII 無灌水，ビニール，マルチ，敷わら，1区2本，3連

〔試験結果〕：落葉率については，第2図のように，ビニール，マルチ，或は，ビニール，マルチ上に更に敷わらをすることにより灌水を少くしても落葉が少くなる傾向があつた。更に新梢の生育についても，第7表のように，（I）50l灌水，敷わらと（III）25l灌水，ビニール，マルチはほとんどかわらず，（II）25l灌水，敷わらはやや劣り，ビニール，マルチの効果が認められた。

第2図 移植時の灌水量及びマルチの方法と落葉



~~~~~